

# Ⅲ 産 業

## 1 産業

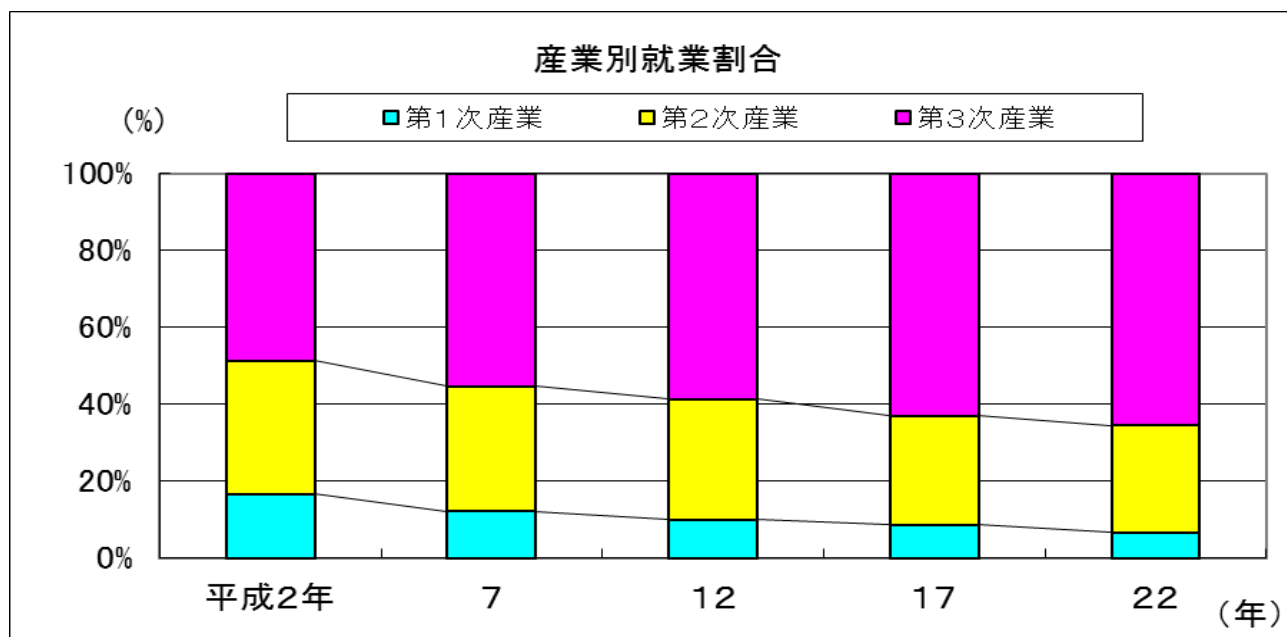
### (1) 産業別就業者数

下野市の産業別就業者数の推移をみると、平成2年から平成22年までに、第1次産業は2,248人減少、第2次産業は782人減少、第3次産業は6,399人増加している。

産業別就業者数の推移

単位：人

	平成2年	7	12	17	22
第1次産業	4,129	3,517	2,971	2,553	1,881
第2次産業	8,585	9,376	9,302	8,340	7,803
第3次産業	11,991	15,947	17,387	18,526	18,390



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

### 解 説

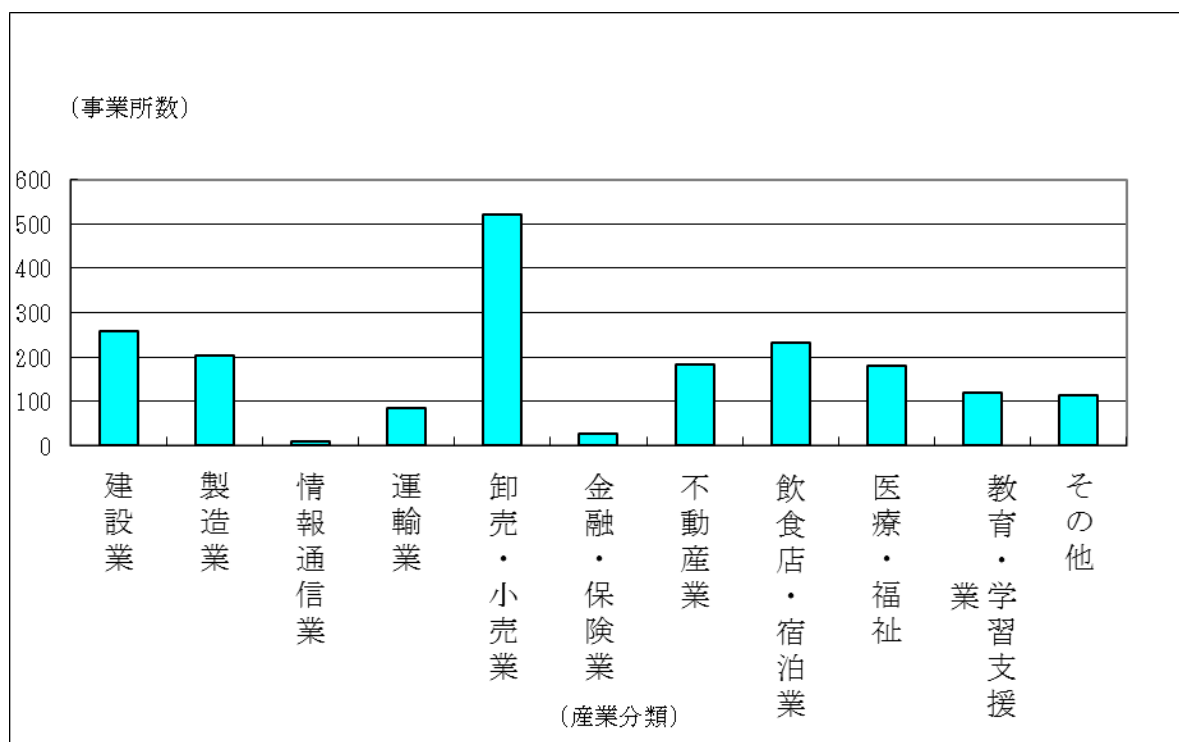
本標準産業分類は、統計調査の結果を産業別に表示する場合の統計基準として、事業所において社会的な分業として行われる財貨及びサービスの生産又は提供に係るすべての経済活動を分類したもので、統計の正確性と客観性を保持し、統計の相互比較性と利用の向上を図ることを目的として、昭和24年10月に制定されています。その具体的な内容は、事業所において行われる農業、建設業、製造業、卸売業、小売業、金融業、医療、福祉、教育、公務などすべての経済活動を、大分類、中分類、小分類及び細分類の4段階に分類したものです。

## (2) 産業（大分類）別事業所数

平成26年の下野市の産業（大分類）別事業所数を見ると、卸売・小売業（520）が最も多く、2番目に建設業（257）、3番目に飲食店・宿泊業（232）となっている。

産業（大分類）別事業所数

	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	その他
下野市	257	203	9	86	520	27	182	232	179	119	113



資料：平成26年経済センサス基礎調査  
(平成26年7月1日現在)

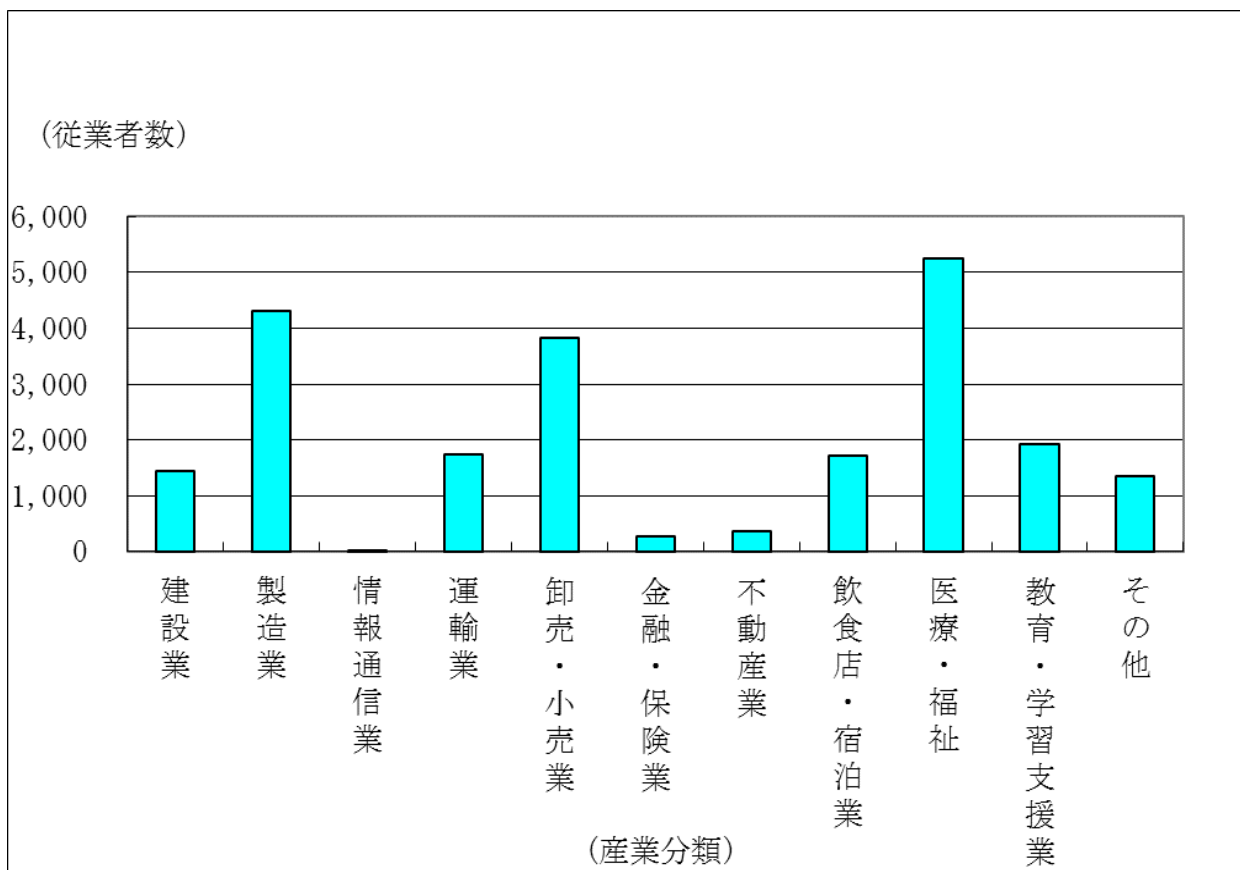
### (3) 産業（大分類）別従業者数

平成26年の下野市の産業（大分類）別従業者数を見ると、医療・福祉（5,248人）が最も多く、2番目に製造業（4,310人）、3番目に卸売・小売業（3,823人）、4番目に教育・学習支援業（1,918人）となっている。

産業（大分類）別従業者数

単位：人

	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	その他
下野市	1,440	4,310	25	1,735	3,823	272	355	1,710	5,248	1,918	1,341



資料：平成26年経済センサス基礎調査  
(平成26年7月1日現在)

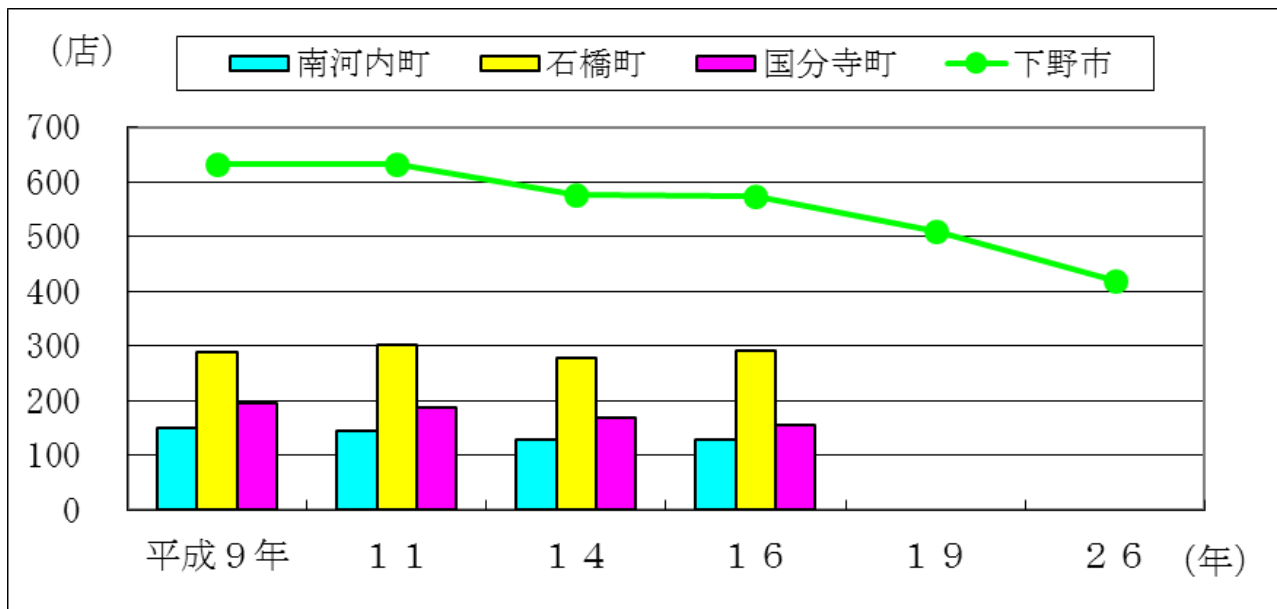
## 2 商業

### (1) 商店数

下野市の商店数の推移をみると、平成9年（634）から平成26年（420）までの間に214減少している。

商店数の推移

	平成9年	11	14	16	19	26
南河内町	151	145	129	129	—	—
石橋町	288	301	279	291	—	—
国分寺町	195	188	170	155	—	—
下野市	634	634	578	575	510	420



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：商業統計調査（各年6月1日）

平成26年経済センサス基礎調査（7月1日現在）

### 参考

平成26年経済センサス基礎調査の商店数

宇都宮市	4,446	日光市	925	那須塩原市	1,088
足利市	1,560	小山市	1,315	さくら市	319
栃木市	1,527	真岡市	650	那須烏山市	270
佐野市	1,395	大田原市	660		
鹿沼市	947	矢板市	311		

平成26年7月1日現在

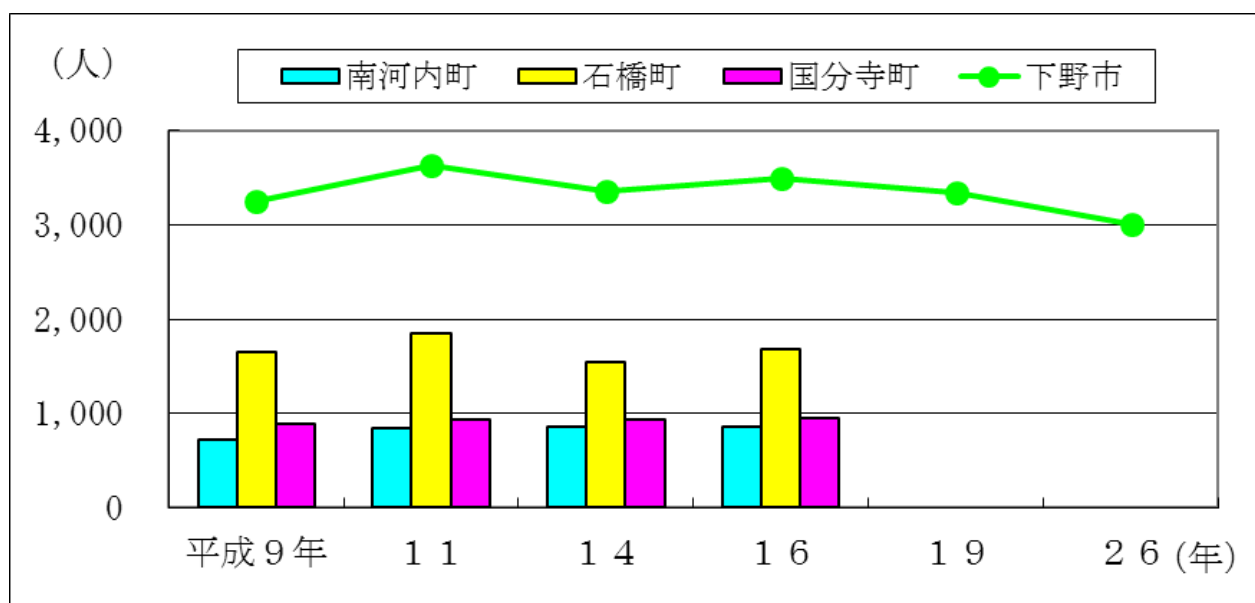
## (2) 従業者数

下野市の商業従事者数の推移をみると、平成9年(3,247人)から平成26年(3,003人)までに244人減少している。

### 商業従業者数の推移

単位：人

	平成9年	11	14	16	19	26
南河内町	717	842	863	857	—	—
石橋町	1,649	1,846	1,547	1,685	—	—
国分寺町	881	939	940	952	—	—
下野市	3,247	3,627	3,350	3,494	3,348	3,003



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：商業統計調査（各年6月1日）

平成26年経済センサス基礎調査（7月1日現在）

## 参考

### 平成26年経済センサス基礎調査の商業従事者数

単位：人

宇都宮市	40,135	日光市	5,168	那須塩原市	7,830
足利市	9,641	小山市	10,800	さくら市	2,216
栃木市	9,614	真岡市	4,375	那須烏山市	1,269
佐野市	8,753	大田原市	3,924		
鹿沼市	6,608	矢板市	1,852		

平成26年7月1日現在

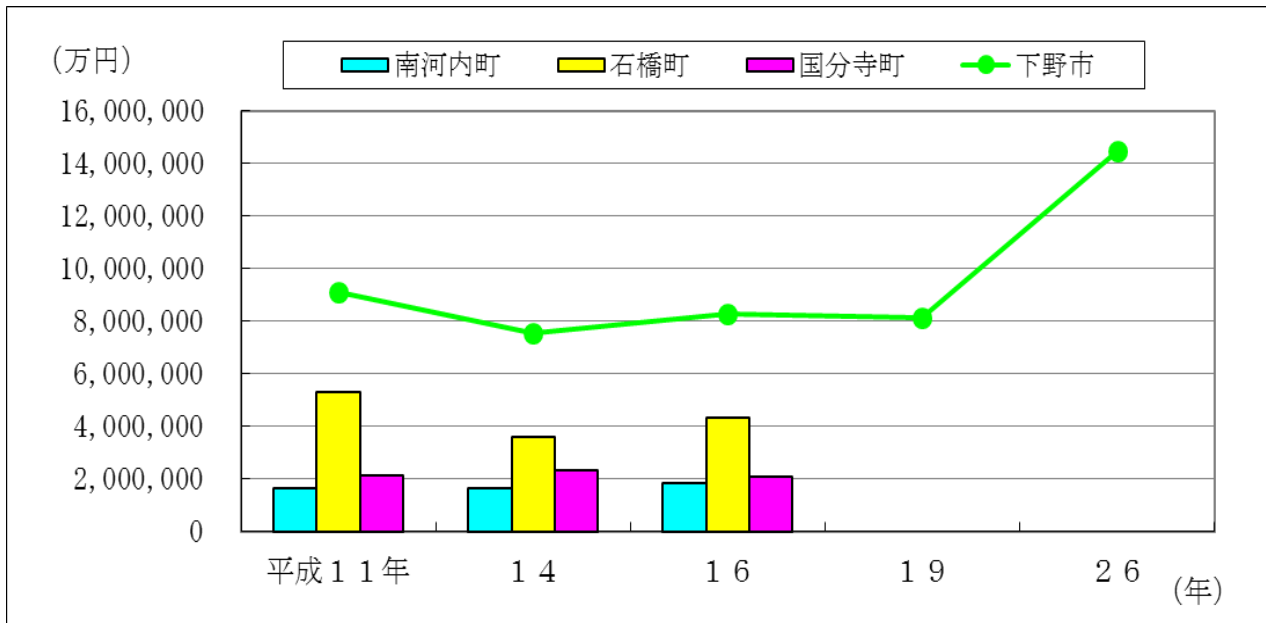
### (3) 年間商品販売額

下野市の商店の年間商品販売額の推移をみると、平成11年（9,105,593万円）から平成26年（14,470,032万円）までに5,364,439万円増加している。

商店の年間商品販売額の推移

単位：万円

	平成11年	14	16	19	26
南河内町	1,658,276	1,651,579	1,832,820	—	—
石橋町	5,287,075	3,583,253	4,350,057	—	—
国分寺町	2,160,242	2,324,199	2,092,870	—	—
下野市	9,105,593	7,559,031	8,305,747	8,103,981	14,470,032



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：商業統計調査（各年6月1日）

平成26年経済センサス基礎調査（7月1日現在）

### 参考

平成26年商業統計調査の年間商品販売額

単位：万円

宇都宮市	204,021,938	日光市	9,773,974	那須塩原市	22,192,785
足利市	25,856,892	小山市	38,266,381	さくら市	6,068,829
栃木市	27,765,834	真岡市	10,297,216	那須烏山市	2,208,595
佐野市	28,761,009	大田原市	11,545,969		
鹿沼市	19,375,557	矢板市	4,743,596		

平成26年7月1日現在

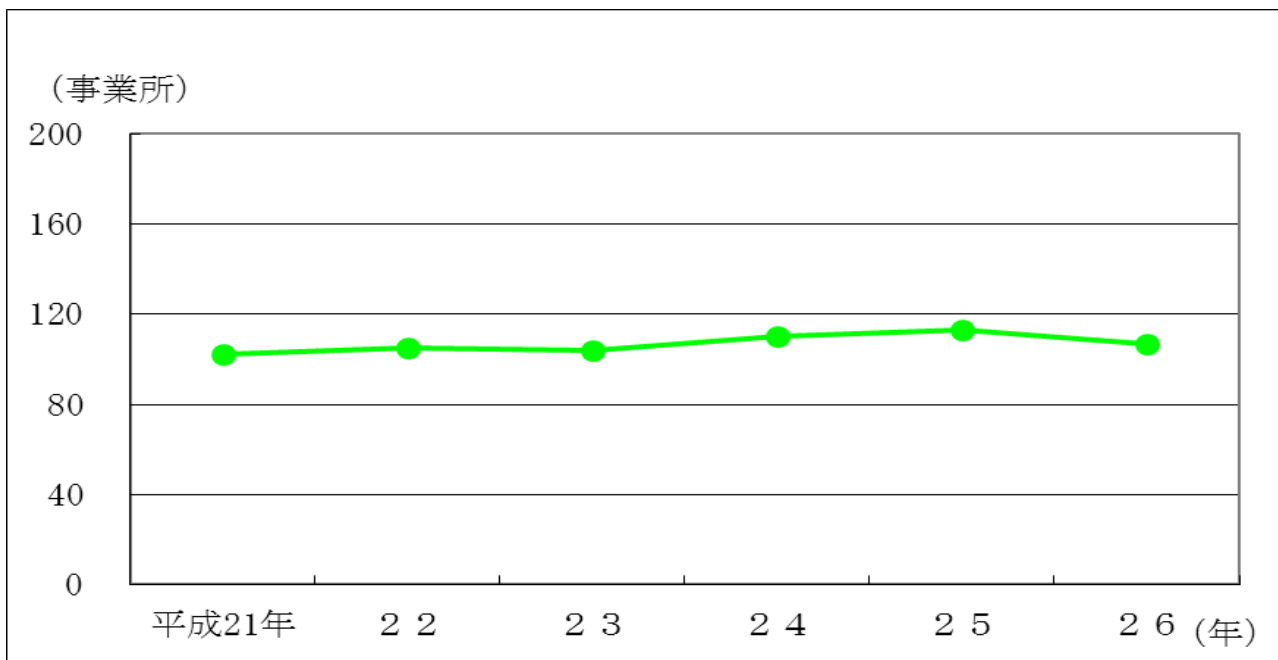
### 3 工業

#### (1) 事業所数

下野市の生産活動を行う事業所数の推移をみると、平成21年(102)から平成26年(107)までに5増加している。

生産活動を行う事業所数の推移

	平成21年	22	23	24	25	26
下野市	102	105	104	110	113	107



資料：工業統計（各年12月31日現在）  
（従業者4人以上の事業所）

#### 参 考

平成26年工業統計調査の事業所数

宇都宮市	529	日光市	204	那須塩原市	230
足利市	585	小山市	271	さくら市	109
栃木市	426	真岡市	187	那須烏山市	120
佐野市	413	大田原市	161		
鹿沼市	404	矢板市	64		

平成26年12月31日現在

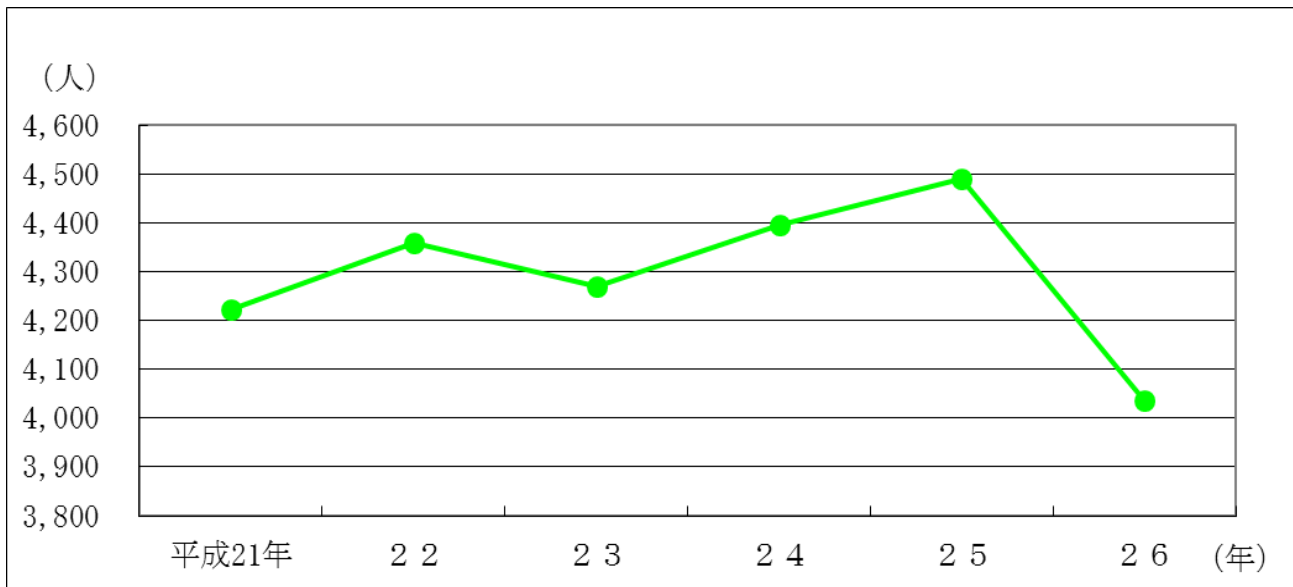
(2) 従業者数

下野市の生産活動を行う事業所の従業者の推移をみると、平成21年(4,224人)から平成26年(4,037人)までに187人減少している。

生産活動を行う事業所の従業者数の推移

単位：人

	平成21年	22	23	24	25	26
下野市	4,224	4,360	4,271	4,397	4,490	4,037



資料：工業統計（各年12月31日現在）  
（従業者4人以上の事業所）

参 考

平成26年工業統計調査の事業所の従業者数

単位：人

宇都宮市	30,379	日光市	7,213	那須塩原市	9,810
足利市	14,956	小山市	16,443	さくら市	4,731
栃木市	17,039	真岡市	12,820	那須烏山市	3,180
佐野市	13,403	大田原市	10,893		
鹿沼市	13,720	矢板市	3,319		

平成26年12月31日現在



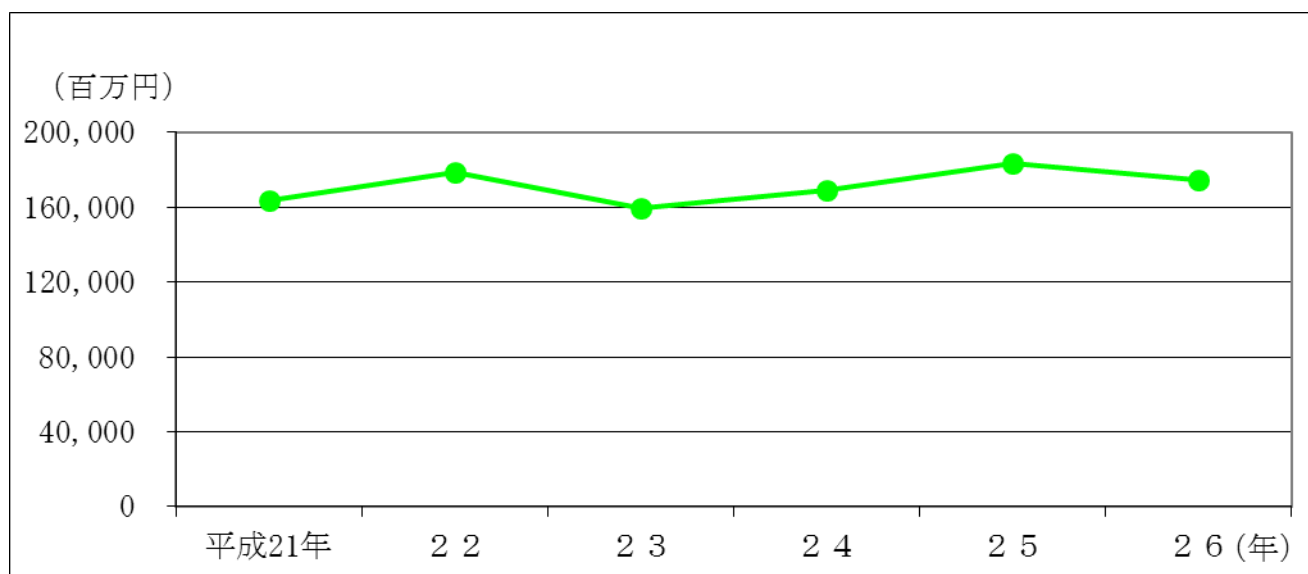
### (3) 製造品出荷額

下野市の製造品出荷額の推移をみると、平成21年（163,320百万円）から平成26年（174,698百万円）に11,378百万円増加している。

製造品出荷額の推移

単位：百万円

	平成21年	22	23	24	25	26
下野市	163,320	178,889	163,320	169,133	183,338	174,698



資料：工業統計（各年12月31日現在）  
（従業者4人以上の事業所）

#### 参 考

平成26年工業統計調査の製造品出荷額

単位：万円

宇都宮市	198,105,967	日光市	31,406,785	那須塩原市	35,018,999
足利市	35,066,525	小山市	81,388,729	さくら市	18,736,687
栃木市	89,815,070	真岡市	55,110,080	那須烏山市	5,376,216
佐野市	38,184,242	大田原市	49,296,842		
鹿沼市	41,012,751	矢板市	11,309,481		

平成26年12月31日現在

## 4 農業

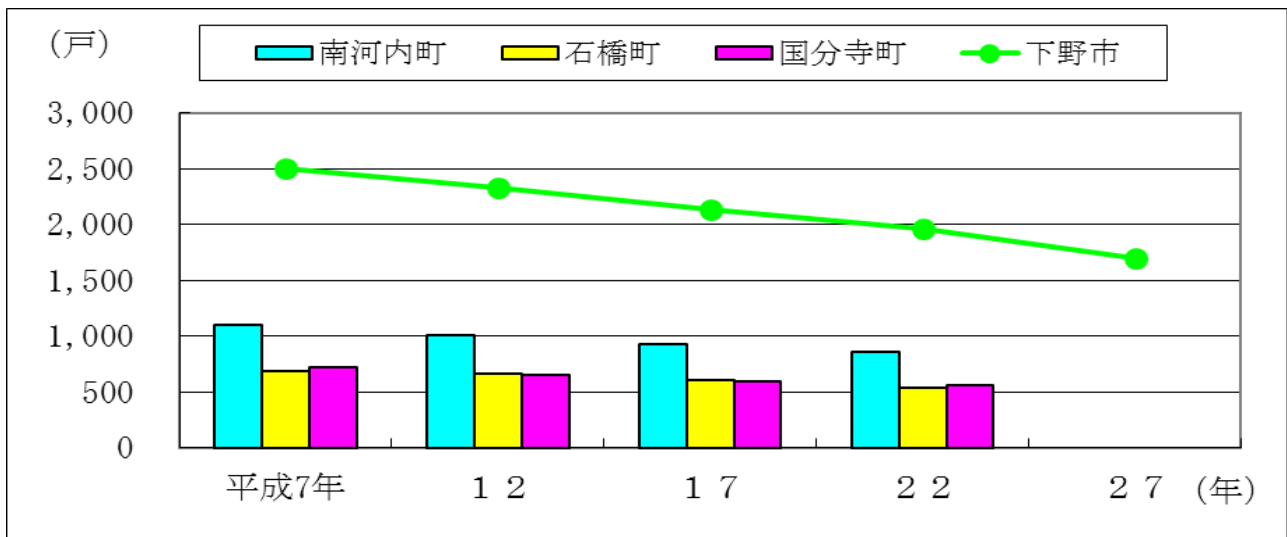
### (1) 農家数

下野市の農家数の推移をみると、平成7年(2,508戸)から平成27年(1,702戸)までに806戸減少している。

農家数の推移

単位：戸

	平成7年	12	17	22	27
南河内町	1,099	1,013	933	—	—
石橋町	690	660	604	—	—
国分寺町	719	657	596	—	—
下野市	2,508	2,330	2,133	1,961	1,702



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：農林業センサス（各年2月1日現在）

### 参考

平成27年農林業センサスの農家数

単位：戸

宇都宮市	5,218	日光市	2,264	那須塩原市	2,820
足利市	1,987	小山市	2,971	さくら市	1,707
栃木市	5,461	真岡市	3,741	那須烏山市	2,048
佐野市	2,867	大田原市	4,151		
鹿沼市	3,325	矢板市	1,163		

平成27年2月1日現在

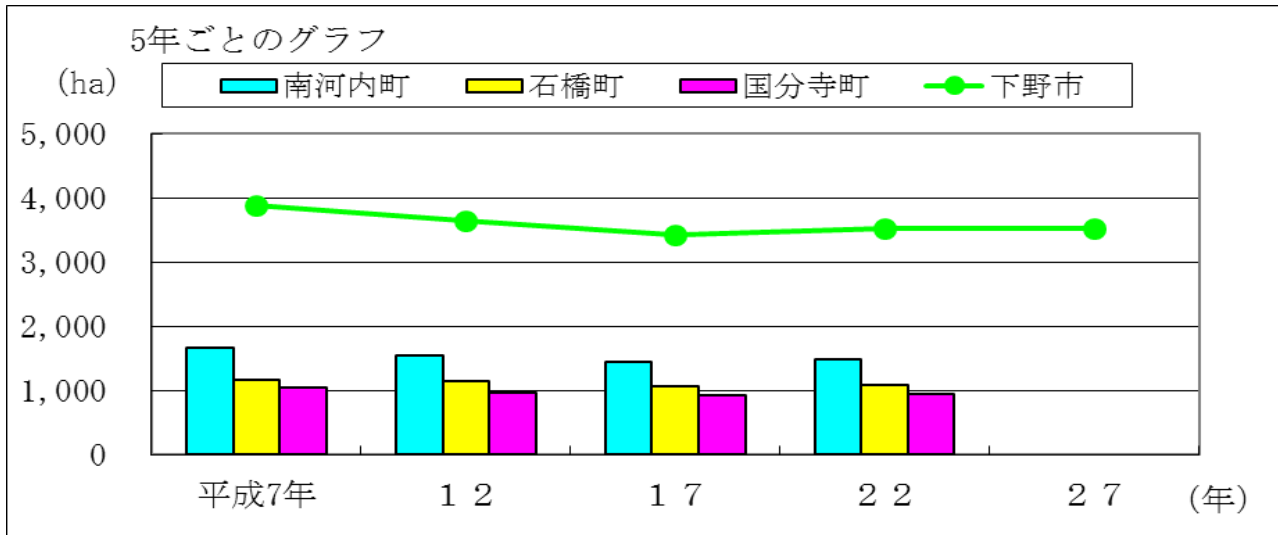
(2) 経営耕地面積

下野市の経営耕地面積（販売農家）の推移をみると、平成7年（3,885ha）から平成27年（3,352ha）までに533ha減少している。

経営耕地面積（販売農家）の推移

単位：ha

	平成7年	12	17	22	27
南河内町	1,668	1,549	1,443	—	—
石橋町	1,166	1,136	1,061	—	—
国分寺町	1,051	966	927	—	—
下野市	3,885	3,651	3,431	3,523	3,352



※ 3町の合計を下野市として作成

資料：農林業センサス（各年2月1日現在）

参考

平成27農林業センサスの経営耕地面積

単位：ha

宇都宮市	9,899	日光市	4,295	那須塩原市	8,648
足利市	1,721	小山市	6,211	さくら市	4,394
栃木市	7,760	真岡市	7,113	那須烏山市	2,474
佐野市	2,525	大田原市	10,233		
鹿沼市	4,368	矢板市	2,651		

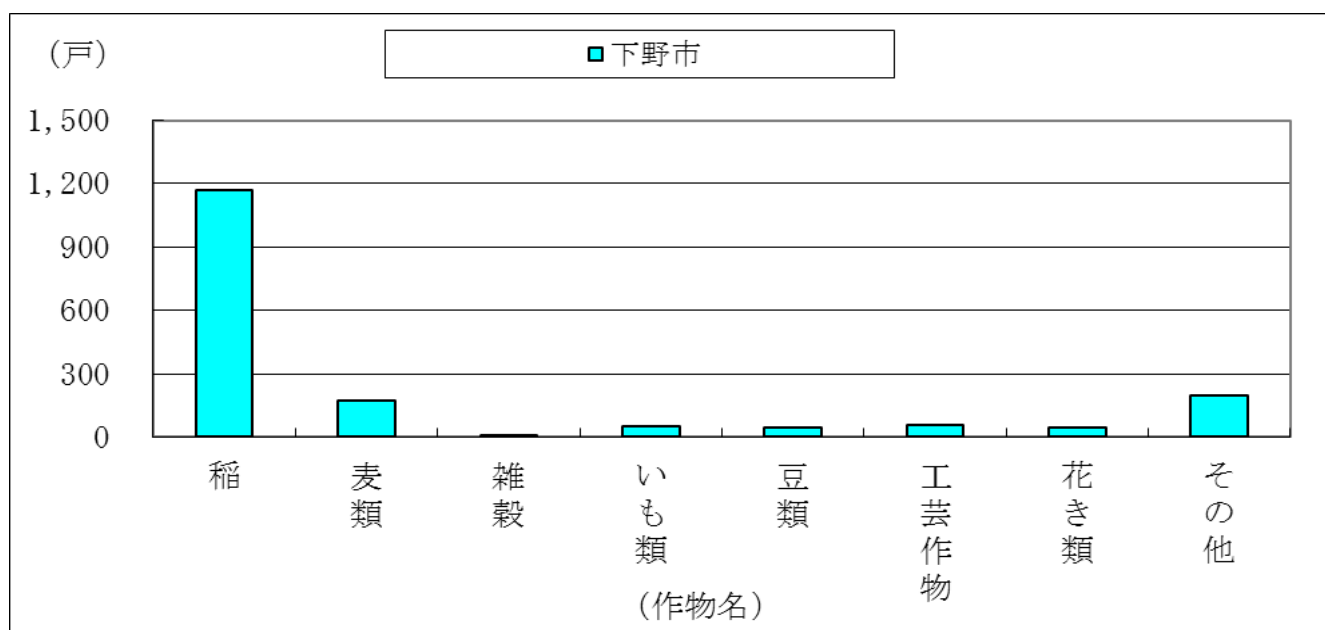
平成27年2月1日現在

### (3) 販売目的で作付けした作物

下野市の販売目的で作付け（栽培）した作物の類別経営体数をみると、稲が 1,171 で 1 番多く、2 番目に麦類の 170、3 番目に工芸作物の 56 の順となっている。

販売目的で作付け（栽培）した作物の類別経営体数

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
下野市	1,171	170	11	49	44	56	44	197



資料：農林業センサス（平成27年）

### 参考

平成27年農林業センサスの販売目的で作付け（栽培）した作物の類別経営体数

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
宇都宮市	3,412	276	104	146	134	7	115	269
栃木市	3,281	783	135	160	153	11	46	322
小山市	1,648	370	46	54	72	21	45	287
上三川町	956	91	7	7	11	18	10	107
壬生町	795	94	32	37	72	7	25	34

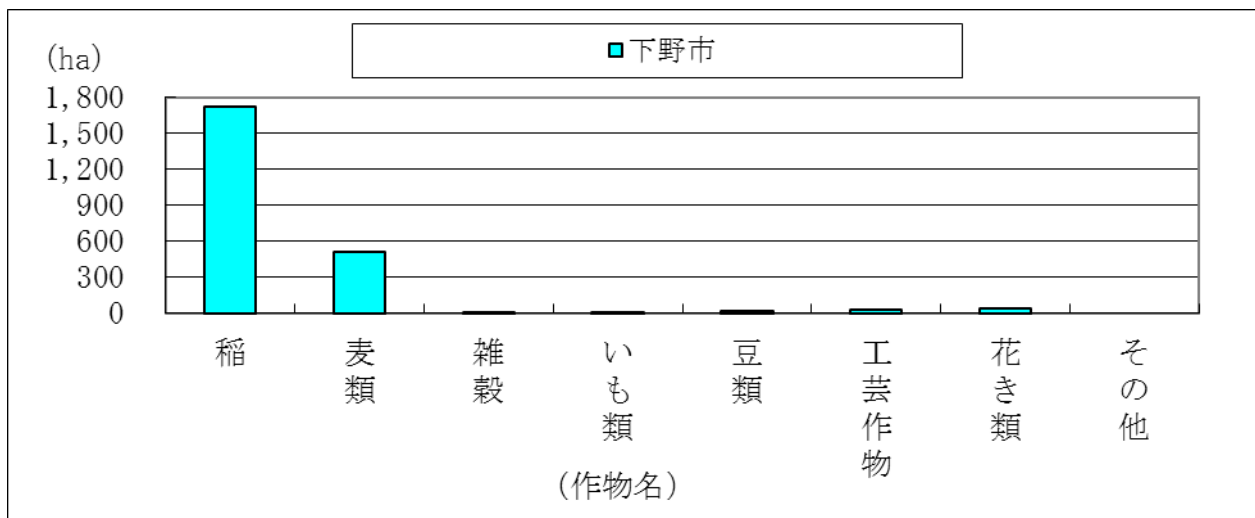
平成27年2月1日現在

下野市の販売目的で作付け（栽培）した作物の類別作付面積は、稲が 1,723ha で 1 番多く、2 番目に麦類の 509ha、3 番目に工芸作物の 27ha の順となっている。

販売目的で作付け（栽培）した作物の類別作付け面積

単位：ha

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
下野市	1,723	509	8	9	14	27	36	—



※単位に満たないものについては空欄となっている 資料：農林業センサス(平成27年)

参考

平成27年農林業センサスの販売目的で作付け（栽培）した作物の作付面積 単位：ha

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
宇都宮市	5,823	673	105	6	141	2	79	310
栃木市	4,076	1,723	106	7	150		22	469
小山市	2,179	861	202	10	118	9		296
上三川町	1,010	109	9	3		5		
壬生町	1,072	201	22	5	23	2		

平成27年2月1日現在

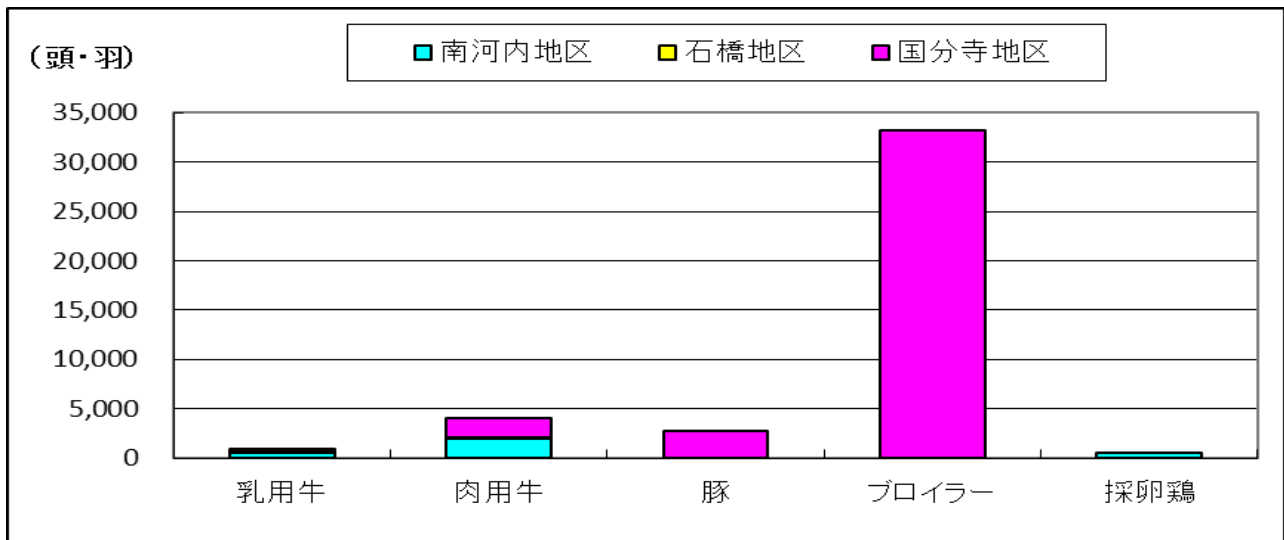
(4) 家畜飼養頭羽数

下野市の家畜飼養頭羽数は、肉用牛 4,087 頭、豚 2,790 頭、乳用牛 906 頭、ブロイラー 33,200 羽、採卵鶏 500 羽となる。

家畜飼養頭羽数

単位：頭・羽

	乳用牛	肉用牛	豚	ブロイラー	採卵鶏
南河内地区	538	1,985	0	0	500
石橋地区	307	153	0	0	0
国分寺地区	61	1,949	2,790	33,200	0
下野市	906	4,087	2,790	33,200	500



※ 3地区の合計を下野市として作成

資料：農林業センサス（平成22年）

参 考

平成22年農林業センサスの家畜飼養頭羽数

単位：頭・羽

宇都宮市	10,368	日光市	10,983	那須塩原市	24,501
足利市	2,793	小山市	8,428	さくら市	9,817
栃木市	3,646	真岡市	16,289	那須烏山市	11,614
佐野市	958	大田原市	16,005		
鹿沼市	8,640	矢板市	1,821		

2月1日現在

※牛・豚はそれぞれ1頭とし、鶏については100羽を牛・豚1頭分として算出（ブロイラー羽数は除く）

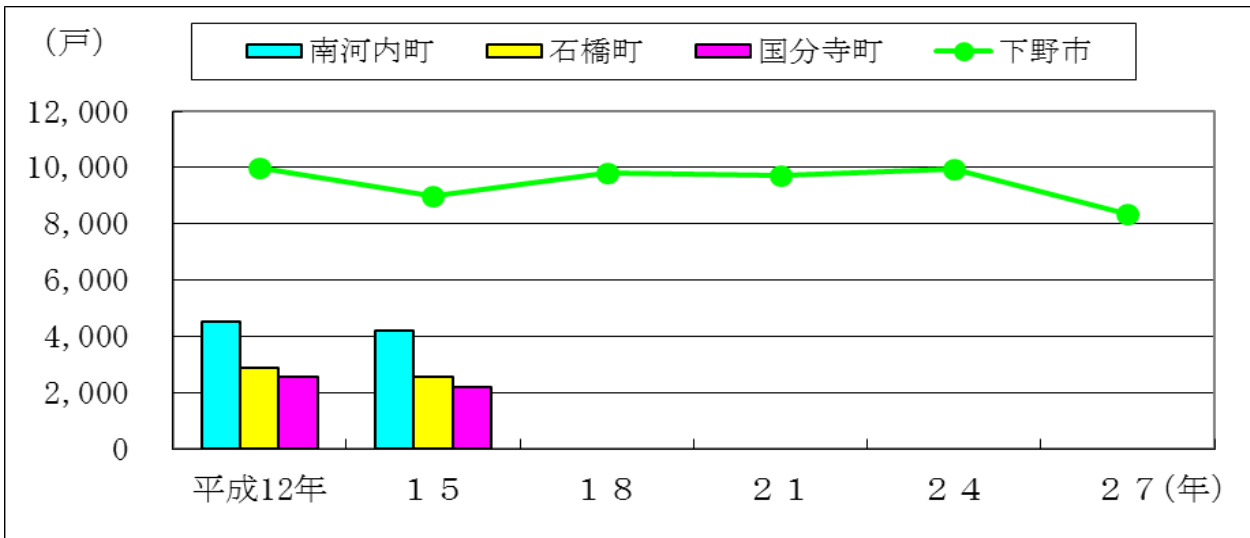
(5) 水稻収穫量

下野市の水稲収穫量の推移をみると、平成12年(9,980t)から平成27年(8,340t)までに1,640t減少している。

水稻収穫量

単位：t

	平成12年	15	18	21	24	27
南河内町	4,530	4,210	-	-	-	-
石橋町	2,890	2,570	-	-	-	-
国分寺町	2,560	2,210	-	-	-	-
下野市	9,980	9,990	9,820	9,730	9,930	8,340



【参考】水稻作付面積

単位：ha

旧町別	平成12年	15	18	21	24	27
南河内町	880	850	-	-	-	-
石橋町	525	520	-	-	-	-
国分寺町	467	448	-	-	-	-
下野市	1,872	1,818	1,880	1,850	1,850	1,750

資料：栃木県統計年鑑

参 考

平成27年水稻収穫量

単位：t

下野市	8,340	佐野市	7,580	真岡市	21,900	那須烏山市	8,000
宇都宮市	34,100	鹿沼市	10,200	大田原市	38,200	那須塩原市	24,800
足利市	4,800	日光市	11,700	矢板市	9,260		
栃木市	21,600	小山市	15,100	さくら市	18,000		

## 5 林業

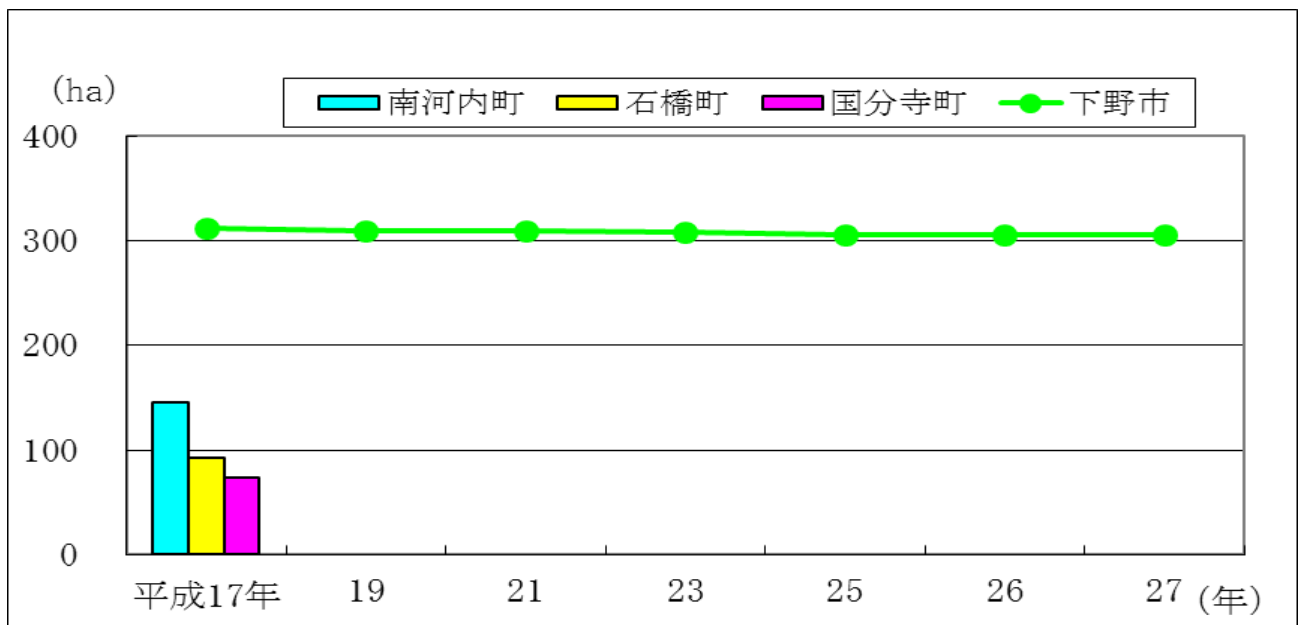
### (1) 林野面積

下野市の林野面積の推移をみると、平成17年(312ha)から平成27年(306ha)までに6ha減少している。

林野面積の推移

単位：ha

	平成17年	19	21	23	25	26	27
南河内町	145	-	-	-	-	-	
石橋町	93	-	-	-	-	-	
国分寺町	74	-	-	-	-	-	
下野市	312	309	309	308	306	306	306



資料：栃木県環境森林部（各年3月31日現在）

### 参 考

平成27年の林野面積

単位：ha

宇都宮市	8,179	日光市	125,324	那須塩原市	38,572
足利市	7,949	小山市	564	さくら市	2,525
栃木市	8,391	真岡市	1,442	那須烏山市	8,134
佐野市	21,825	大田原市	15,301		
鹿沼市	33,671	矢板市	9,778		

平成27年3月31日現在



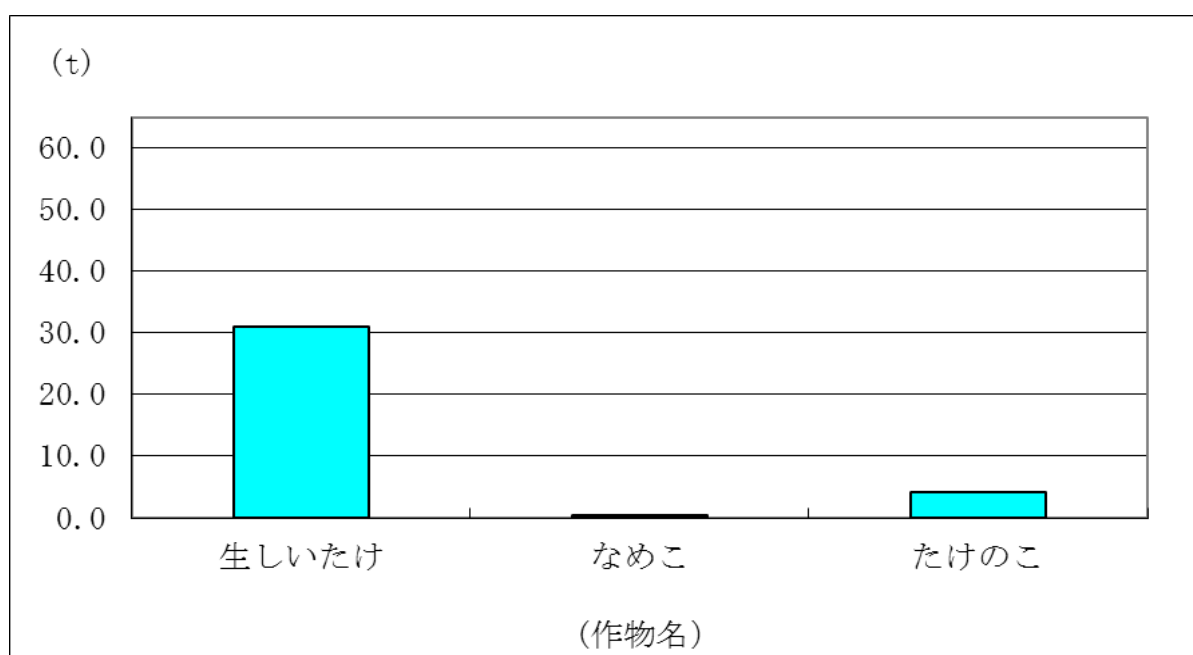
## (2) 平成26年特用林産物生産量

下野市の平成26年の特用林産物生産量をみると、生しいたけが31.0tで1番多い。また、2番目にたけのこが4.1t、3番目になめこが0.4tとなっている。

平成26年特用林産物生産量

単位：t

	生しいたけ	なめこ	たけのこ
下野市	31.0	0.4	4.1



資料：栃木県環境森林部

### 解説

特用林産物とは、森林原野において産出されてきた産物で、通常林産物と称するもののうち、一般用材を除く品目の総称と定義されています。つまり、森林から生産されるもののうち、建築用材以外のものすべてを特用林産物といいます。かつては、林野副産物とか特殊林産物などとも呼ばれていましたが、現在では特用林産物に統一されています。

特用林産物は、きのこ類をはじめ、くりなどの樹実類、たらの芽、わさび等の山菜類、そのほか木炭類、竹類など多岐にわたっています。